発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人　平島　敏治

戦闘力のもっとも深奥な根源は民衆の中にある

毛澤東

便所巡りの郵便屋

三川 港務 〃らくがき〃新春対談

労働者の職場や社会から、町や村や農村の地域にまでひろがっていった五六年のサークル運動には注目すべき幾つかの足跡があった。とくに近江絹糸の女工さんたちが綿ぼこや油にまみれながら書きつくした四三八冊の「らくがき帳」はこれからのサークル運動に新しい光をなげかけた。便所のらくがきや、日記の走りがきなどに端を発したこの運動は、みんなが書ける、みんなが参加できる運動として近江絹糸から全国の労働者たちにひろまっていった。

三池でも十月、まず三川、港務の両支部がこの運動を手がけ、はやくも二カ月を経た。いま両支部のらくがきは便所の中から臭気をはねのけて大きな成長を示しているが、編集部では五七年の新春にあたり両支部の編集担当教宣部員にお願いして育ち行くらくがきの対談を行った。

ただいま執筆中

司会　まず「らくがき運動」をはじめられた動機から伺いましょうか。

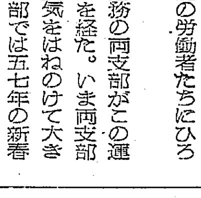
酒田　端的に言うなら職場常会をやるとか部内の常会の中で発言する人はいつもきまっている。温和しい人は言いそびれて自然と発言がなくなる、そういうところからこの人たちに場所を提供するという意味と職場のすみずみに埋もれている不平、不満を取上げるという眼目ではじめられた。

小玉　私のところもそういう意味もあり、また当時投書箱を設置しようという動きがあったが、以前芳ばしからぬ成績を示していたのでこれをやめて思い切って「らくがき」を取上げてみた。それに編集会議のときらくがきに成功した近江絹糸のこともききこういうことが動機になっている。

司会　よく判りました。ではいままでのうちに経験された失敗談があったら何か一つ……。

臭いぞ教宣部

酒田　現在毎日便所の担当をきめて回収に当っているが、はじめのうちはノックを忘れていきなり戸を明けることがたびたびあった。中にはまだ使用中でさかんに唸いている人もあり、その人に「只今執筆中」とどなられて冷汗をかいたことがありますね。いま教宣部は他の部から便所郵便屋さんだの、教宣部は臭くて困るだのと冗談をいわれている。また最初のうちは用紙をつけた板ぎれを便壷に投げこむ人もいて、便所の流れが悪いと掃除夫さんから苦情をいわれたこともあった。



小玉　別に失敗談といって取立てて言うことはなかった。

司会　失敗の反面、非常に効果の上ったということがあったら。

見逃せない発言の場

酒井　各部が可能なかぎりらくがきに出てくる苦情を取上げて解決に当っているし、中間報告を一回、つい先日もいままでの一一六通に達するらくがきの結果を掲示場で報告するなど、こういうことで非常にこの運動に対して関心が高まり、朝夕の通勤電車の中でも話題に上るほど組合員に接近していっている。

小玉　港務所は三川と立地条件が異り、職場が広範囲なためか三川みたいには直接ピンピン響いてきていないようです。

司会　この運動に対する組合員の協力はどうですかね。

親しまれる方向へ

酒井　最初にくらべてみんなの気持にもゆとりが出た。というのは、いまでは文学がこの運動へ顔を出し、フレッシュな散文詩なども少くないような傾向を示しているし、以前のような紙をヤブル等の悪さがなくなり、育てて行こうという組合員の気持が出ていることで、大きな協力をみせてきています。

小玉　ある現場では自分のナイフまでつけて下げるという人もみられるように。はじめのうちは便所の紙になるのがオチだといっていた人もいたが、やってみて驚いている。

司会　最後に今後どういう方向に持って行きたいと思いますか。

小玉　続けて行きたい、除々に成果をあげている。

酒田　三十二年度は三川のらくがき運動を三鉱労組随一のものとしたいと思っている。具体的な方法はいままでのを分析、解明して行かねばならないが、とにかくもっと組合員に親しめるようにして、オレ達自身のものだという感じを持つようにして行きたいと思っています。

出席者
三川支部　酒田　教宣部員
港務支部　小玉　教宣部員
司会　平島編集部長

前進

一千億減税の行方

一月八日、東京を皮切りに全国遊説に乗り出した石橋首相は岸外相、池田蔵相、三木幹事長、川崎前厚相を従えて新内閣の施政方針を披露してまわっているが、内容は予想の通り一千億減税や、雇用量の増大や、社会保障の完備やでにぎやかなことである。はたしてこの様な結構ずくめが御注文どおり出来るだろうかと一応は疑ってみるものの、新聞で、ラジオで「アナタの税金は半分になります、今年四月の給料袋から……」等と言われてみるとつい膝を乗り出してみたくなるのが人情である。

ところでこの減税の正体は、われわれ貧乏人にはオハチが廻って来なくて、年収五十万円を超える課長クラス以上の人達に有難味がある仕掛けになっている。のみならずお米の値上げと運賃の値上げが同時に決定されるはずだから「元も子も」どころではなく十円もらって百円のツリを取られるようなものになること必定である。

×　×

試みに減税の方をのぞいてみよう。池田蔵相の説明によれば夫婦と子供三人、計五人家族の場合は次の様になると言う。

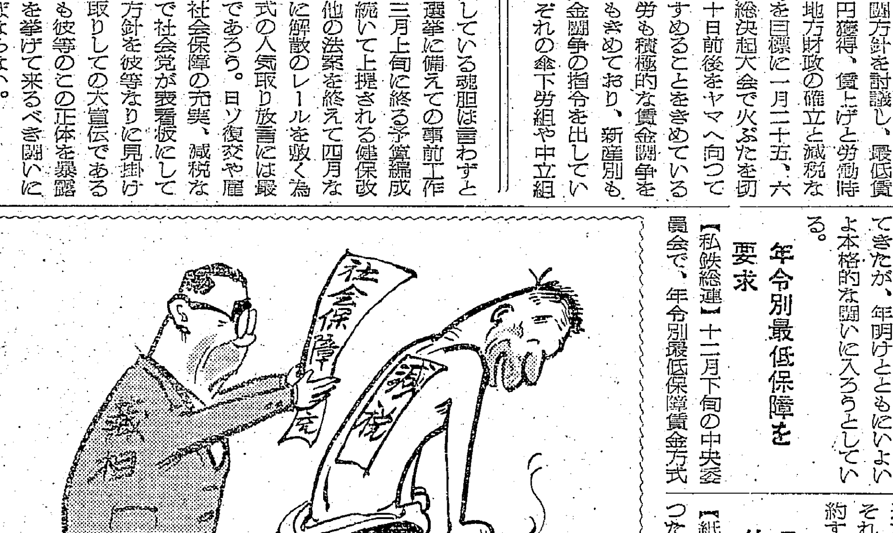
年収	現行	改正案
30万	6,500円	3,251円
40万	24,500円	15,384円
50万	52,895円	31,840円

一見して分るように年収三〇万円ある者で一カ月にして二百七〇円の減税になるが、五〇万円クラスは一カ月千七百五十余円となる。もし百万円の年収者ならば月六千八百余円となり減税分だけで一財産と言いたいくらいだ。しかも年収三十万円に満たない大多数の労働者の実態からすれば減税による生活の余裕はまことに期待薄と言わねばならない。

しかも前述のように今次の国会には米価値上げと国鉄運賃の値上げが上提される。米一升につき八円五〇銭、運賃一割八分の値上げが実現するとなれば、これに伴う諸物価の値上がりは、恐らくわれわれの必需物資全般に及ぶものと考えねばならない。即ち減税の恩恵には無関係に、物価の値上げからは逃れられないのが国民の大部分である。

×　×

このようなカラクリを鳴り物入りで宣伝している魂胆は言わずと知れた総選挙に備えての事前工作である。三月上旬に終る予算編成と、引き続いて上提される健保改正案その他の法案を終えて四月ないし五月に解散のレールを敷く為には総花式の人気取り放言には最適の時期であろう。日ソ復交や雇用増大、社会保障の充実、減税など今日まで社会党が表看板にしていた施政方針を彼等なりに見掛けだけを横取りしての大宣伝であるわれわれも彼等のこの正体を暴露し、総力を挙げて来るべき闘いに対処せねばならない。



―そのコウヤクが一番いいだ……―

いよいよ春闘へ

最低賃金制に秘策ねる

総評は去る十二月十日の第四回幹事会で春闘方針を討議し、最低賃金制八千円獲得、賃上げと労働時間短縮、地方財政の確立と減税など八項目を目標に一月二十五、六日の中央総決起大会で火ぶたを切り、三月十日前後をヤマへ向って闘いをすすめることをきめている一方、全労も積極的な賃金闘争を行うこともきめており、新産別も傘下に賃金闘争の指令を出している。それぞれの傘下労組や中立組合では昨年来闘争の準備をすすめてきたが、年明けとともにいよいよ本格的な闘いに入ろうとしている。

年令別最低保障を要求

【私鉄総連】十二月下旬の中央委員会で、年令別最低保障賃金方式による平均一割の賃上げ要求をきめ、いま各単組で要求案の作製をすすめている。要求提出は一月二十三日。賃金の算定は十八才八、〇〇〇円を基準（一〇〇%）に二十六才一四二・三%、二十九才一七四・八%、三十三才二〇二・四%、四十二才二三六・六%としている。

一月二十日から要求提出

【合化労連】化学産業最低賃金の確立をめざし、十五才＝税込八、〇〇〇円、十八才＝税込一〇、〇〇〇円、三十才―扶養二人＝一八、〇〇〇円の三本を基準として要求を組む。要求方式は「一律＋アルファ＋ベーター」で「一律＋アルファ」が平均二、〇〇〇円、「ベーター」が最低保障に要する原資、闘争の具体的な方針については一月二十六、七日の臨時大会（東京）できめるが、大体一月二十日ごろから要求提出、三月二日までにスト権確立、第一波実力行使が三月十日となろう。また、最低賃金制の闘争では、臨時大会で労連本部にスト権を委譲、各単組でそれを批准し、三月二日までに集約する。

スト権を労連へ集約

【紙パ労連】昨年十、十一月に行った賃金実態調査を集約中。春闘の基本方針は昨年八月の大会で、未熟練単純労働者の最低満十八才手取八、〇〇〇円を紙パ統一最低賃金とし、各単組の賃上げ要求と最低賃金法制定の二つの柱を組んで闘うこと、スト権を労連本部に集約することなどをきめている（これは初の試みである）。三月十一日、スト権の中央集約で臨時大会をひらくが、各単組は二月末までに要求をきめ、大会後一せいに交渉に入る。三月二十五―三十一日が闘争のヤマとなる模様

全国的な賃上げ闘争へ

【全国金属】昨年末の中央委で春闘の基本方針をきめている。それによればこの春戦後最高の賃上げ闘争を展開するとともに、最低賃金制についての討論をまき起す。賃上げは形にこだわらず、生産性向上攻勢の現実をみきわめて進めることが必要だとしている。そのため一月十二日から二月上旬にかけて全国オルグを行い、準備から行動へうつってゆき、各支部は二月中旬までに要求をまとめる。春闘では年を越して闘いつづけている東京亜鉛の闘いが一つの軸となろう。

具体方針は二月大会で

【全鉱連】昨年九月の大会で、春季賃上げ闘争は単産要求方式（企業連ごとでなく全鉱一本で要求書を出す方式）で闘うことを一応きめている。金額その他については二月中旬の大会できめる。

最低賃金制ですすでにスト権確立

【炭労】昨年十月の臨時大会で、最低給者の保障賃金を一方当り三四〇円（月約八、〇〇〇円）とし直接夫、間接夫、坑外夫とも一方につき一律八〇円（内修正給三〇円）の賃上げをきめ十二月二十日提出した。また、「基準賃金に対応する労働時間は休けい一時間をふくみ拘束八時間」を要求している。具体的な方針は一月十日の中闘できめる。最低賃金制については十月の大会でスト権を確立している。

俺にも一言

▲みんなが云いたい事をみんなが聞くべきだ▲一口が一生を明るくする▲天性は苦労の中から

政黨と組合運動

私達は、我が国労働運動が創生以来、内部対立、分裂と発退のあらしに吹きまくられた、にがい経験を持っています。

これは、第二次世界大戦以前は、天皇制国家権力による世界にも類のない大弾圧と、闘争の方向、指標に対しての意見の内部対立が主な原因であったと思われます。戦後は、量的にも一大飛躍をとげた労働組合が、アメリカ占領軍の干渉と政府の圧力や、政党の組合に対する態度が混乱したり、組合指導者間の意見の相違があったり、全国的な統一を勝ちとることは出来ませんでした。

この事を若干事実を通して見てみますと、戦後の労働組合結成に大いに寄与している共産党が、一時労働組合を共産主義の学校だということから、組合員の考え方などおかまいなしに、一方的に党の政策を押しつけたり、党勢拡張の道具或いは、党の力が強まると、まるで自分の組合であるかのように考えたり、行ったりした時期がありました。この事がわざわいして労働組合として絶対に許すことの出来ない〃レッド・パージ〃を、組合員の闘う力の結集が出来ず、許してしまった事があります。又社会党が、共産党との共同闘争は行わない、一線を画するといっているため、職場内での党員が共産党員と反目していたり、党員と組合員の関係がぎこちなくなっている所もあります。

この様に、組合と政党の区別をつけないやり方、または意見のちがう人、政治信条のちがう人に、すぐ反動、日和見主義者、赤、などとレッテルをはって排斥するような一人良がりの考えは、労働者の本当の敵に向って闘う力をそがれ、組合の民主的統一を強めるかわりに、資本家と分裂主義者にいい口実を与え、不本意にも分裂を生み出すことを歴史が教えています。

政党と組合運動の正常な関係、発展を願うならば、まず、私達の労働組合の民主的統一に心がけねばならないと思います。わかりきった事ではありますが、労働組合は、組合員一人ひとりが自覚して自発的に参加するものであることすべての活動は〃組合員の生活と権利を守る〃という立場が一貫して貫ぬかれていなければならないし、労働者が、自分の組合に信頼が持てるような条件を作りだし、各人の創意を生かして積極的に組合運動に参加して行く事が大切です。

次に、労働者階級の政党である社会党、共産党は、正しく政党の立場に立って、組合員のまじめなとり組みを政治的に明らかにし、援助し指導すべきであると思います。政党間の政策の相違点はさておき労働者階級の政党として、労働者の要求で多くの一致点を求め共同の敵に向い統一戦線を組んで闘いを起すべきです。

以上の事を明らかにして闘いを進めるならば、組合の力は結集され、労働者階級の大同団結のもとに労働者の戦闘力は更に強められることを確信します。

現在三鉱労組の幹部には党籍を持った人達が多数いますが、組合員の中にはこれを見て〃社会党が組合を支配している〃と評する声もあります。これは、中には政党と組合の関係の無理解もありますが、党籍を持った幹部が多くなると、往々にして、共産党が犯したにがいあやまちを二度と繰返えす危険性がでてくるし、労働者は政党と組合の正常な発展を望んでいるからだと思います。

戦後十年の歴史を重ねた労働運動は、生産性向上運動反対、軍事基地反対、最低賃金の保障等、組合員の具体的な闘いの中から統一を強めようとしています。

労働者の大同団結しようという力は、独占資本陣営にヒビを入れ自分の力に確信を持って進んでおります。やがてはこの要求のもとに階級政党の統一行動を実現させ労働者階級の更に前進する一歩が築かれることを期待するものです。

宮浦支部　田島広康

しんねん こどもクイズ 解

(1) 川上哲治
(2) 余田リエ
(3) 孫悟空
(4) 湯川秀樹
(5) 雪舟

応募総数　百三十通
正解　四通
正解者
三川　井上　則之
四山　山田志津子
宮浦　後藤　[illegible]
〃　後藤　利徹

ヤマ・パズル、子供クイズとも残念賞は各支部に掲示しますので支部教宣部で受取り下さい。

ヤマ・パズル

応募数　38通
正解　7通

抽選により二名の方に決定いたしました。尚抽選は監事団、書記労組合長立会いの下に厳正に行いました。